

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2009年9月24日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.49】

JR総連の裁判と革マル派の裁判の担当弁護士は同一人物！

前号では、革マル派党中央を代理していたW弁護士が、最近の裁判でJR総連側の代理人を務めている実態を検証した。JR総連関連の裁判と革マル派関連の裁判の担当弁護士が同一である例は、W氏だけでなく他にも多数ある。「月刊日本」(2000年8月)には、太田孝史氏の「トップ交代を機に動き出したJRの労使関係 JR東労組の“革マル批判”は第二の偽装転向か？」との記事が掲載された(p.90~)。同氏はその中で「JR総連・JR東労組関連の裁判と革マル派裁判の担当弁護士が同一人物である」との標題で8名の弁護士のイニシャルを示して、その事実を説明している。内容をまとめると以下のようになる。

事件名	地裁	申立	原告 (肩書きは当時)	被告 (肩書きは当時)	T A	T H	M S	W T	N T	N K	M M	H T
A.「歪んだ鉄路」 損害請求事件	東京	95.12	JR総連、東労組、 東労組松崎委員 長	日新報道、筆者								
B.週刊文春事件	東京	94.8	東労組	文芸春秋社、週 刊文春編集長								
C. JR東海大阪第 三車両所解雇事 件	大阪	93.9	東海労組合員(JR 総連執行委員ほ か1名)	JR東海								
D. 三徳円損害賠 償請求事件	東京	92.5	東海労佐藤委員 長、JR総連	JR東海労組明石 委員長、JR東海								
E. 合同葬会場使 用不許可事件	浦和	91.10 (判決)	JR総連	上尾市								
F. 秋山書簡事件	東京	90.12	JR総連、東労組	鉄産総連大越委 員長、秋山書記 長								
G. 矢後氏宅侵入 事件	東京	-	刑事事件	被疑者:革マル派 活動家と思われる 者								
H. NTT顧客デー タ漏洩事件	東京	99.11 逮捕	刑事事件	被疑者:NTT社員 2名								
I. 解放社(東海支 社)家宅捜索事件	名古屋	99.1	解放社東海支社 代表	愛知県								
J. 埼玉革マル派 関連会社捜索事 件	東京	96.7	東京工芸社	東京都、国								

～ は弁護士名(イニシャル) 太字ゴシック(6名)は東労組顧問弁護士(当時)

A～FはJR総連関連、G～Jは革マル派関連の事件だ。のW・T氏は前号で紹介したW氏のこと。事件の内容については、紙面の都合上省略する。なお、GはJR連合初代会長、JR西労組初代委員長の矢後氏の自宅に革マル派が不法侵入した事件。Hは元動労所属のNTT社員が、顧客データを革マル派に漏洩した事件。警察はG、Hの被告を革マル派活動家としているほか、Jの東京工芸社は革マル派の印刷所である。

これが偶然の一致といえるのか！

どの裁判を担当するかは弁護士の自由だが、革マル派の関連事件を担当する弁護士が、東労組の顧問弁護士を務め、ここまで労働組合の事件に関与するというのは、偶然として済まされるものではなからう。両者の密接な関係を裏付ける重要な状況証拠である！